



早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

今年度実施した「学校評価アンケート」の集約結果をご報告します。ご多用の中、アンケートへご協力頂きありがとうございました。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、よりよい伊勢山小学校をつくっていきたいと思います。

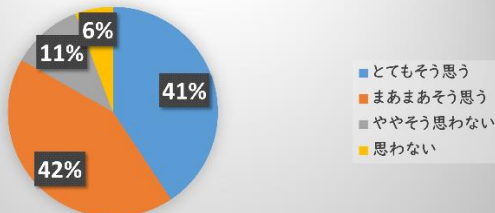


学校評価アンケート

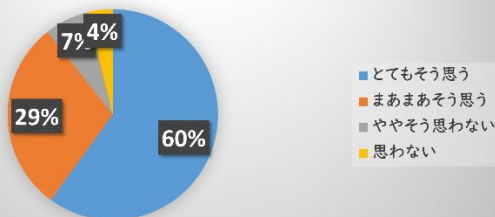
○確かな学力

【児童アンケート】

[質問 3] 授業では、友達と話し合うなど、自分なりに考えたことを伝え合いながら学習していますか。

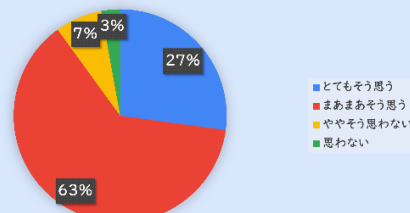


[質問 7] 教科ごとに担当の先生がかわる授業は、分かりやすいですか。

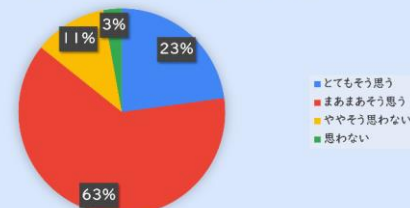


【保護者アンケート】

1 子ども達が自分のめあてをもち、自らすすんで学習に取り組めるよう、学校は、意見交換や議論などの活動の場の充実を図るための工夫や改善を行っていると思いますか。



3 学校は、40分授業や教科担任制の活用により、子ども達の学習の様子をつかみ、どの子にもわかりやすい授業になるよう、工夫や改善を行っていると思いますか。

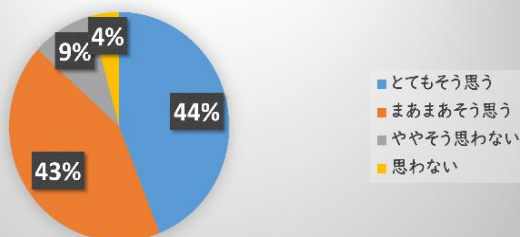


ペア学習やグループでの活動を行うことで、自分なりの考えを深めたり、表現したりすることができるようになっていけると考えられる。また、教科担任制により科目ごとの指導の工夫を行い、専門性を生かすことでわかりやすい授業を展開することができていると考えられる。

○豊かな心

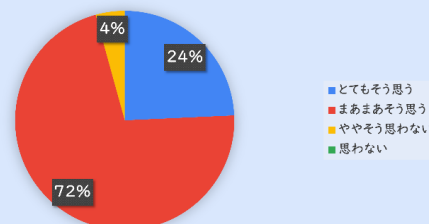
【児童アンケート】

[質問 11] 学校の活動の中で、友達や周りの人の気持ちを考えて行動しようと考えていることが、前よりも出ていますか。



【保護者アンケート】

5 学校は、道徳の学習や行事、異学年との交流を通して、異なる意見を認め合い、相手の良さを見つけることのできる関係を育てていると思いますか。

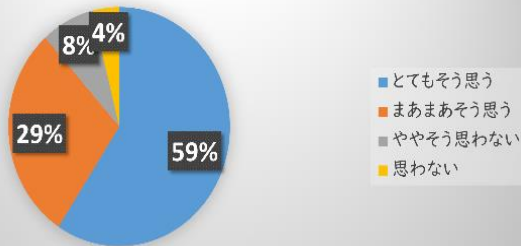


道徳の授業を中心とした教育課程全体を通して、友達や周りの人の気持ちを考えて行動しようと考えている児童が多数いることが分かった。今後は、さらに自分で考えたことを行動に移すことができるように、定期的に振り返る活動を位置付けながら支援していきたい。その中で、児童一人ではなく、他者を交えた活動を積極的に取り入れながら互いのよさに目を向け、児童一人ひとりの自己肯定感を高められるようにしていきたい。

○健やかな体

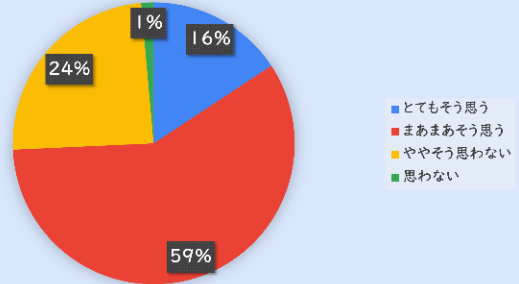
【児童アンケート】

[質問 13] 体力をつけるために、すすんで運動する機会が、学校生活の中にありますか。



【保護者アンケート】

6 学校は、児童の体力の向上及び健康づくりの活動の充実に努めていると思いますか。

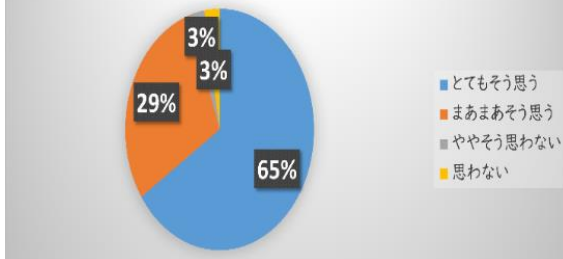


生活・体力面では、児童は自ら運動する機会が多いと感じている。今後体力テストや体育の授業に活かし、体力の向上を図っていききたい。児童の運動への意欲を体力・運動能力の向上につなげられるように授業づくりに取り組んでいきたい。

○自分づくり教育（キャリア教育）

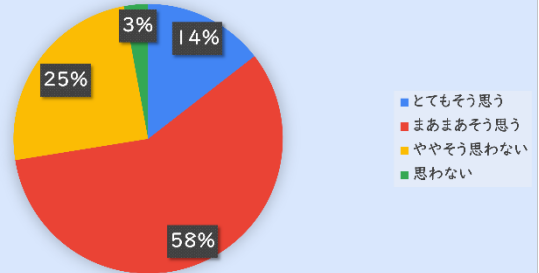
【児童アンケート】

[質問 19] 自分ができるようになったことや、これからがんばりたいことがありますか。



【保護者アンケート】

10 学校では、発達段階に応じて、将来へ向けて夢をもち、自分らしい生き方について考える指導を行っていると思いますか。

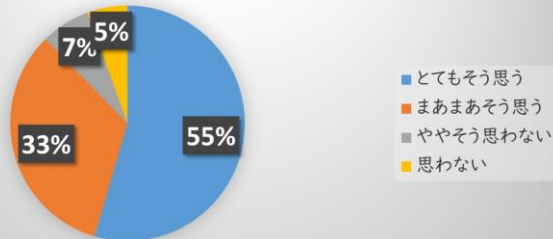


今回の結果から、日々の学校生活や行事、道徳などの授業で非常に多い割合の児童が自分の成長を実感し、また、将来的な目標をもっていることが読み取れる。しかし、保護者の実感としてはまだ足りないこともうかがえる。来年度以降は日々の学校の取り組みをさらに発信していくことで、保護者の実感を高めていくことが課題である。

○いじめへの対応

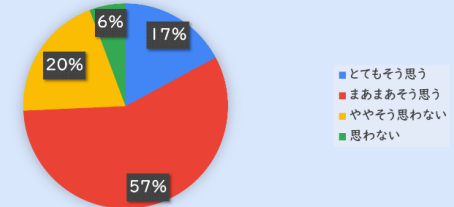
【児童アンケート】

[質問 21] 困ったときや悩んだときに、友達や先生、家族など身近な人で、相談しようと思う人はいますか。



【保護者アンケート】

11 学校は、日頃の子どもの様子を見取り、定期的なアンケート調査を生かす等、いじめに対する小さな発信を見逃さず、職員全体で共通理解のもと、組織的にいじめの未然防止や解決に努めていると思いますか。

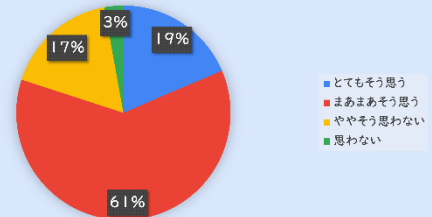


担任だけでなく、全職員で全児童を見守るという体制を大切にしながら、学校生活の中での児童一人ひとりの様子を丁寧に見取ることができた。今後は、児童が困った時や悩んだ時により相談しやすい関係性を築いていくために、挨拶を含めたコミュニケーションを大切にしていきたい。定期的なアンケート調査や支援プログラム等の実施を通して、事前にできる児童指導（発達支持的生徒指導）に力を入れながら児童一人ひとりの様子を見守りたい。

○人材育成・組織運営

【保護者アンケート】

14 「どの子にも分かりやすい授業づくり」や「端末を活用した授業づくり」のために積極的に行っている職員研修の成果が、効果を上げていると思いますか。

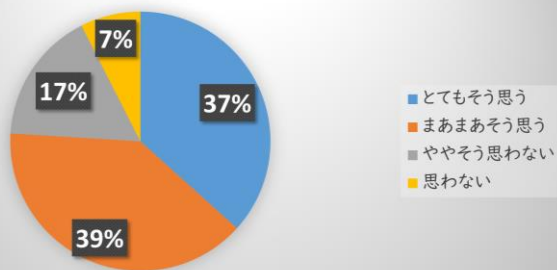


年間を通して、道徳の研究や学年ごとに授業づくりの研究を進めてきた。また、教科の特性、子どもの実態に合わせたタブレットを使っての学習も進めていくことに努めてきた。引き続き、一人ひとりの児童にとって「わかった・できた」がえられる授業づくりを目指していく。

○地域学校協働活動

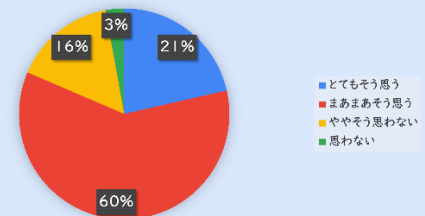
【児童アンケート】

[質問 23] 地域の人とふれあう機会がありますか。



【保護者アンケート】

16 学校は、ホームページや学校だより、YouTube等により、学校の取組が分かりやすい情報発信の工夫をしていますか。

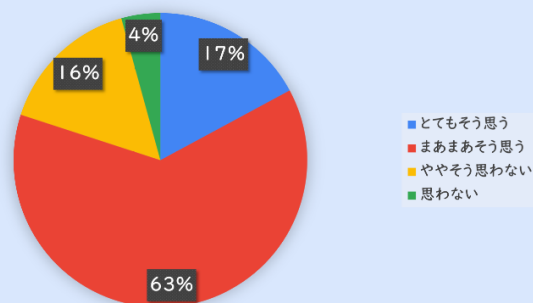


コロナ禍で行うことが難しかった地域の方との交流を少しずつ再開してきた。今後はさらに機会を増やし、体験的な活動を通して、地域と協働した学習活動を展開していきたい。学校教育活動の発信については多くの保護者の方に伝わるように工夫してきた。ご意見をいただきながらさらに改善を図ってきたい。

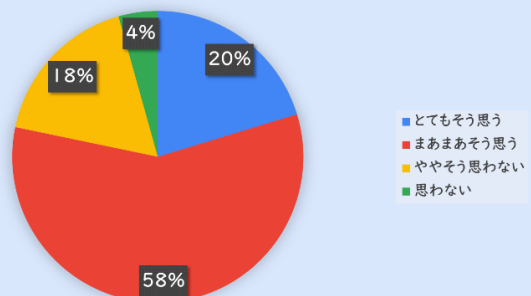
○特別支援教育

【保護者アンケート】

18 学校は、どの子にも分かりやすい学習環境づくりに努めていると思いますか。



19 学校は、個々の児童に向き合い、個に応じた適切な支援をしていると思いますか。



学習を進める上で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指してきた。「やりたい!」「こうしたい!」という児童のつぶやきや思いを大切にしながら、全児童が安心して学習を進められるように学習環境を調整してきた。今後も児童が学校に合わせるのではなく、学校が児童に合わせていく視点を大切にもち、更なる一体的な充実を目指していきたい。

その他にも調査項目があります。詳しい結果につきましては、以下のQRコードよりお読みいただければと思います。



みなさまの多くのご意見、ありがとうございました。いただいた意見をもとに教職員で話し合い、次年度以降以下の取組を行っていきます。

- 毎週水曜日をロングタイムとします。集会委員会の活動を実施したり、ロング昼休みにしたりすることで、クラス内、異学年との交流を充実させていきます。
- 行事の見直しを行い、5、6年生の宿泊体験学習を春に実施します。詳しくは、年間行事予定をご確認ください。また、年度初めの懇談会時に保護者説明会も実施します。
- 年間3回の授業参観を実施します。4月、12月、2月を予定しております。また、4月と2月の授業参観は、懇談会も同日に設定します。

今後も、子ども達が学ぶ楽しさを味わいながら、学校生活を送ることができるよう、全職員で児童の支援を行っていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。